



## ロードバイクとともに広がった私の世界

渡辺 治見さん（白石）

**私**

は、ロードバイクに乗ることを休日の楽しみとしています。競技として走るのではなく、趣味として楽しく走っています。

現在、道の駅和紙の里ひがしちちぶのフードコート内にある「みはらし」で働いています。そこへロードバイクで来店されたお客さんがきっかけとなり、ロードバイクを始めました。最初は私一人が夢中になっていましたが、今では主人も一緒に走るようになり、夫婦共通の趣味となっています。天氣の良い日には、夫婦やロードバイク仲間とともに、群馬県・山梨県・長野県・など県外へ走りに行くことがあります。また、村内を走ることもあり、走って初めて知る景色や新たな発見もありました。

ロードバイクを通じて、豊かな休日を通り越せるだけでなく、体を動かすことで健康を保つことができている。また、何よりもかけがえのない大切な仲間と出会うきっかけとなり、人と人とのつながりを強く感じています。

ロードバイクを始めて本当によかったと日々感じており、これからも長く続けていきたいと思っています。

## 手を取り合い、

### 共に歩む育成会活動

私は現在、東秩父村手をつなぐ育成会の会長を務めています。

この会は、障がいのある子どもをもつ家族が集い、村内の活動にとどまらず、比企地域でも活動を行っています。勉強会や意見交換会を開催し、悩みや不安を打ち明けて相談するなど、相互に支え合いながら取り組んでいます。また、交流会や研修会、地域行事への参加などを通じて理解を深め、誰もが暮らしやすい社会づくりを目指しています。

私自身、この活動を始めて10年以上が経ちますが、会員の皆さんと手を取り合いながら活動できていること、そして地域の皆さんに温かく見守っていただいていることに、東秩父村手をつなぐ育成会の会長として心より感謝しています。

